

すべては海になる (2009)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンズ

製作国 日本

色彩 Color

時間 119分

初公開日 2010/01/23

公開情報 東京テアトル

映倫 G

【キャッチコピー】

手をつないだくらいで、
つながったなんて思いたくない…。

心に刺さる言葉が痛くて、優しい。ちょっとMなラブストーリー。

【解説】

脚本やTVディレクターの傍ら小説家としても活躍する山田あかねが、自身の同名小説の映画化で映画監督デビューを飾ったヒューマン・ドラマ。主演は「腑抜けども、悲しみの愛を見せろ」の佐藤江梨子と「誰も知らない」の柳楽優弥。

書店に勤める27歳の夏樹は、恋愛を繰り返しては傷ついてばかりの青春時代を送っていた。ひょんなことから本と出会い、救われた夏樹はそのまま本好きとなり、やがて書店員となった。彼女がセレクトした“愛のわからないひとへ”と題した本棚は、いまや評判のコーナーとなっていた。一方、まだ一度も恋をしたことのない17歳の光治は、暴力を振るう父や万引き常習者の母、不登校の妹という崩壊寸前の家庭を、たった一人で立て直そうと奮闘していた。そんな2人が、ある事件をきっかけに巡り会い、不器用ながらも少しずつ距離を縮めていくが…。

【クレジット】

監督	山田あかね	
プロデューサー	遠田孝一 榎本憲男 小林誠一郎	
原作	山田あかね	『すべては海になる』（小学館刊）
脚本	山田あかね	
撮影	谷川創平	
美術	久渡明日香	
編集	木村悦子	
音楽	田尻光隆	
主題歌	SPANK PAGE	『不器用な情景』
照明	金子康博	
録音	吉田憲義	
装飾	山岸正一	
出演	佐藤江梨子 千野夏樹 柳楽優弥 大高光治 要潤 鹿島慶太	

安藤サクラ
猫背椿 江古田さん
藤井美菜 ゆか
森岡龍
岩瀬亮
吉高由里子 欄しず子
村上淳
渡辺真起子 大高より子
白井晃 大高洋治
松重豊 蓮沼守夫